

相談員・講師を派遣

三木市ワーク・ライフ・バランス推進事業で モチベーションアップについて研修

三木市産業環境部商工課

いきいき働く自分自身、いきいきした職場と職員づくりのために自分にできることは何かを考えると、ワーク・ライフ・バランスの実現にはモチベーションアップが欠かせません。

昨年11月のタイムマネジメント（時間管理）研修に続き、2月14日、サンライフ三木（三木市立勤労者福祉センター）において、三木市産業環境部商工課主催で、市内の企業経営者、人事労務の管理者・担当者を対象にしたモチベーションアップの研修を開催しました。「やる気のスイッチ、改めて探します!」をテーマに、当センター外部相談員の森野和子氏が講師を務め、グループワークを取り入れたワークショップ形式で進めました。

森野氏は、「モチベーションとは、自分の士気を高め、やる気を出す力であり、『欲しいという気持ち』と『欲しいという気持ちを起こさせるもの』の両方がそろった時だけやる気のスイッチが入る」と説明しました。また「やる気のスイッチは人それぞれ。求める“ありたい姿”も異なっている。組織としては、メンバーそれぞれのベクトル（方向性）を合わせていく必要がある。上司のちょっとした気くばりや言動が部下のやる気を引き出し、身近なロールモデルの存在が



人を成長させる」と話されました。グループワークでは、働くためのモチベーションに注目して、「職場の悩み」や「働きがいのある職場」について、活発な意見交換が行われました。

最後に、自分が望むハッピーな“ありたい姿”をめざして、働きやすい職場づくりのためにそれぞれが「明日からやること」をグループ内で宣言しました。